

## 健診実績人数の集計に関する注意点

### 1 委託者の1年度あたり2000人以上について

- ・委託者単位で集計すること。(委託者が異なる場合、合算は不可)
- ・委託者の所有・管理する施設で検診車等を用いて実施した人数を集計すること。自社施設で実施した人数は含めないこと。
- ・人数は延べ人数とする。(例：特定業務健康診断で同一人物が年2回受診した場合は2件とカウント)
- ・定期・雇入時・特定業務健康診断を同一委託者より受託した場合は、人数は合計してもよい。(例：自治体Aより定期健康診断業務を受託し、1,500人実施、同じく自治体Aより雇入時健康診断を受託し、500人実施した場合は合計2,000人と記載)
- ・数字を過大に記載したものは無効とするが、過少に記載したものでも条件を満たすのであれば有効とする。(例：年間受診者数について、延べ人数で集計すれば3,000人だが、実人数で集計した結果が2,200人の場合は2,200人と記載してもよい)
- ・契約書の写しや実績報告書等により、実施内容が確認できること。

### 1 会場の1日あたりの最大実施人数100人について

- ・委託者単位かつ会場単位で集計すること(委託者が異なる場合、合算は不可。また、同一日であっても会場が異なれば合算不可。)
- ・委託者の所有・管理する施設で検診車等を用いて実施した人数を集計すること。自社施設で実施した人数は含めないこと。
- ・定期・雇入時・特定業務健康診断を同一日に同一会場で実施した場合は、それらを合計してもよい。
- ・数字を過大に記載したものは無効とするが、過少に記載したものでも条件を満たすのであれば有効とする。
- ・契約書の写しや実績報告書等により、実施内容が確認できることが望ましいが、書類での確認が困難な場合は書類がなくとも可とする。